



令和 6 年度 第 2 回周南市地域とともにある学校づくり推進協議会

令和 7 年 2 月 2 7 日（木）



周 南 市 教 育 委 員 会 学 校 教 育 課

- 01 今年度の取組について
- 02 アンケート結果について
- 03 グループ協議について

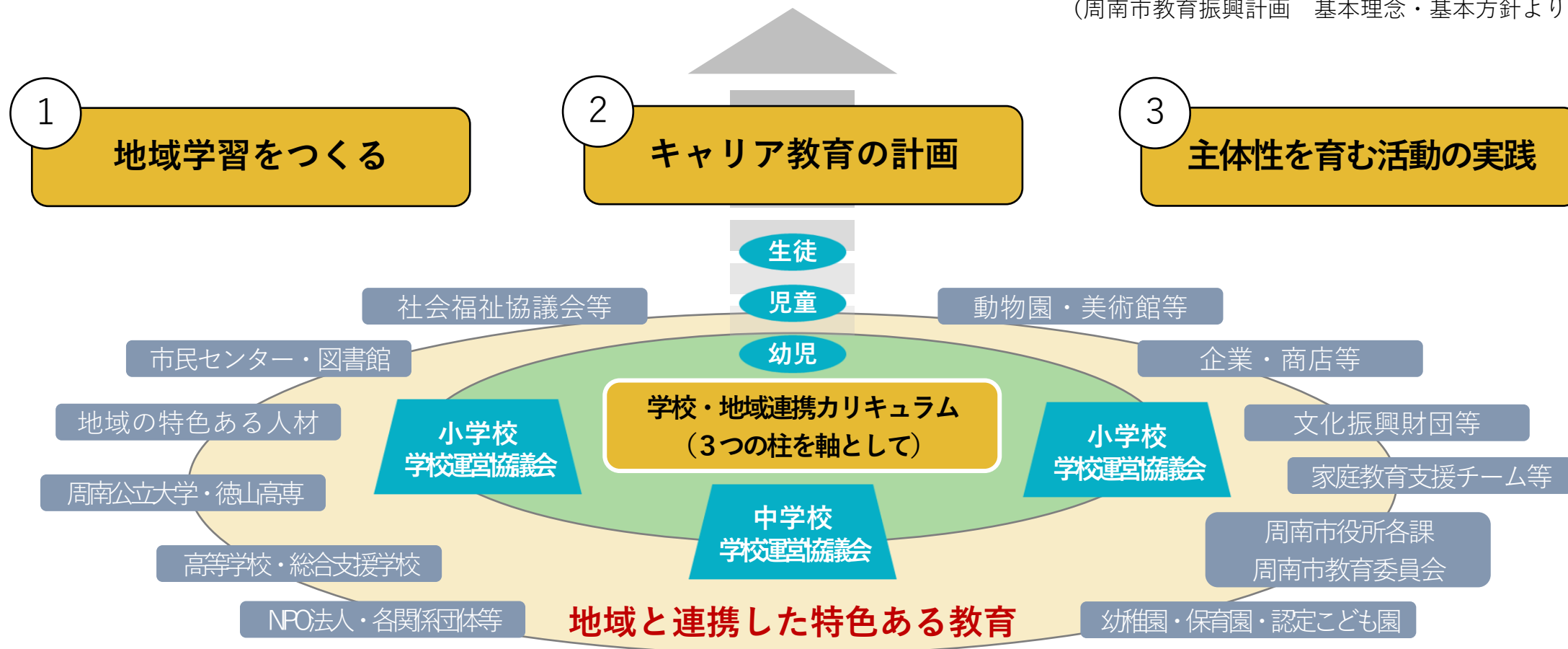


周南市地域連携教育の推進方向

周南市「地域とともにある学校」づくりの推進・充実へ
～子どもたちの夢に寄り添いながら学びや育ちを「社会全体」で見守り支えることができる「環境」をつくるための3つの柱～

「ふるさと周南」の自然や歴史、伝統や文化に誇りと愛着をもち、
高い「志」を抱いて社会で活躍し、力強く自らの未来（あす）を拓く子どもの育成

（周南市教育振興計画 基本理念・基本方針より）



子どもに関わる大人から見る課題

子どもが参画できているか

参集 ▷ 参与 ▷ 参画

(いあわす) (かかわる) (**にないあう**)

令和6年度周南市アクションプラン

令和6年度周南市アクションプラン

周南市のコミュニティ・スクールにおける重点課題

「学校・地域連携カリキュラム」を効果的に活用し、
重点課題① 学校運営協議会の子どもの意見を生かした活動の計画・実施
重点課題② 大人も子どもも「自分事」として捉え、参画する環境づくり

児童生徒・教職員・地域・保護者が、

- 「めざす子ども像＝中学校を卒業するときの姿」に向けて、小中でそろった、つながりのある目標をたてる。
- 目標を達成するために、「カリキュラム＝学校の授業や行事、そうじや委員会等」について、特にがんばることを決めたり、小中でつながりをもって取り組むことを確認したりする。

児童生徒が、

- 地域の人から話を聞いたり、地域のことを学んだりして、自分たちの「地域でやりたい」ことを、生徒会や代表委員会で話し合う。
- 「地域でやりたい」ことを進めていくために、大人と話し合う（熟議）。
- みんなで参加し、自分たちの手で「地域でやりたい」ことをかなえていく。

教職員が、

- 地域に出て学習する活動を増やす。
- 地域の中で、子どもがやってみたいと思える活動を探す。
- 地域の人や保護者と、もっと会う機会を増やし、話をする。

地域・保護者が、

- 地域の人や保護者同士のつながりを大切にして、学校の魅力を発信する。
- 学校で、子どもや地域の人がいっしょに活動する企画にかかわる。
- 企画等を通して、地域の人や保護者同士で知り合い、つながる。

重点課題

- ① 学校運営協議会の子どもの意見を生かした活動の計画・実施
- ② 大人も子どもも「自分事」として捉え、参画する環境づくり

児童生徒・教職員・地域・保護者

児童生徒

教職員

地域・保護者

児童と地域の方々による熟議の様子

三丘小学校

学校教育目標である「楽しさあふれる三丘小学校」にするために、5, 6年生と保護者、学校運営協議会委員で、**できることを熟議**



戸田小学校

「**未来の社会を生きていくために必要となる力**」や「**必要となる力を身に付ける方法**」について、6年生と学校運営協議会委員が熟議



勝間小学校

児童が**日常の委員会活動**を発表したあと、**地域と一緒にできる活動**がないか、学校運営協議会委員とアイディアを話し合う



菊川小学校

6年生が**国語科で学習し、考えた地域でできるSDGsのアイディア**を、学校運営協議会委員や有志の保護者に発表し、意見交換



アクションプランを達成するような取組



岐陽中学校

生徒会役員の中に「コミスク担当」があり、「地域貢献活動」を生徒会が企画している。今年は全校生徒で案を出し、生徒会で練って、学校運営協議会でも協議し、10月の文化祭と合わせて、地域の方に感謝を伝える「トキメキ感謝祭」を実施した。

やったこと： 文化祭の午後に、中学生が校舎内に健康ブースやボードゲームブース、ちびっこブース等を作り、地域の人をもてなす「トキメキ感謝祭」

主体： 生徒会執行部を中心とした、中学生全員

実施の経緯： 個人→班→学級→生徒会（学校運営協議会でプレゼンし、宣伝や協議も行う）

大人の協力： 学校運営協議会委員（市民センター職員）を中心に準備、支援

アクションプランを達成するような取組



住吉中学校

1年生の総合的な学習の時間に、SDG s について学習する中で、「住み続けられるまちづくりを」等の目標を意識した、地域清掃活動や地域の方との交流の案を考え、小中合同学校運営協議会で発表した。準備を重ね、11月に実行した。

やったこと： 授業として、小、中学生、教職員、地域の方で4か所の公園を清掃。清掃後は、中学生の考えたレクリエーションをみんなで行う。

主 体： 中学1年生（活動当日は、小6、中1、教職員、地域住民）

実施の経緯： 中1の総合的な学習の時間→小中合同学校運営協議会でのプレゼン

大人の協力： 協議会委員や推進員が参加の呼びかけ、道具等の手配や助言

アクションプランを達成するような取組



菊川中学校

「地域活性化プロジェクト」として、7月に全クラスで学活を使い、案を考えた。生徒総会で提案して話し合い、3つに絞った。それを学校運営協議会で、提案した生徒たちが大人にプレゼンし、話し合いを経て1つを選び、10月に実現させた。

やったこと： 土曜日に中学生が校舎内にブース（遊び）を作り、参加者が回って楽しんでいく「菊中スタンプラリー」

主体： 中学生実行委員（提案した子どもたち）とボランティア（中学生有志）

実施の経緯： 学級活動→生徒総会→学校運営協議会でのプレゼン

大人の協力： 夢プラン関係者やPTA、学校運営協議会委員が助言、準備、支援 10

アクションプランを達成するような取組



富田中学校

中学校区全体で「**モルック大会をしよう**」と、**小中合同学校運営協議会**を中心に、生徒と大人が熟議を重ねていた。**前年に中1が総合**で保護者、地域の方とプレ大会をし、本年度に**中2と小3、保護者と地域の方、急遽幼稚園**も加わり大会を実施した。

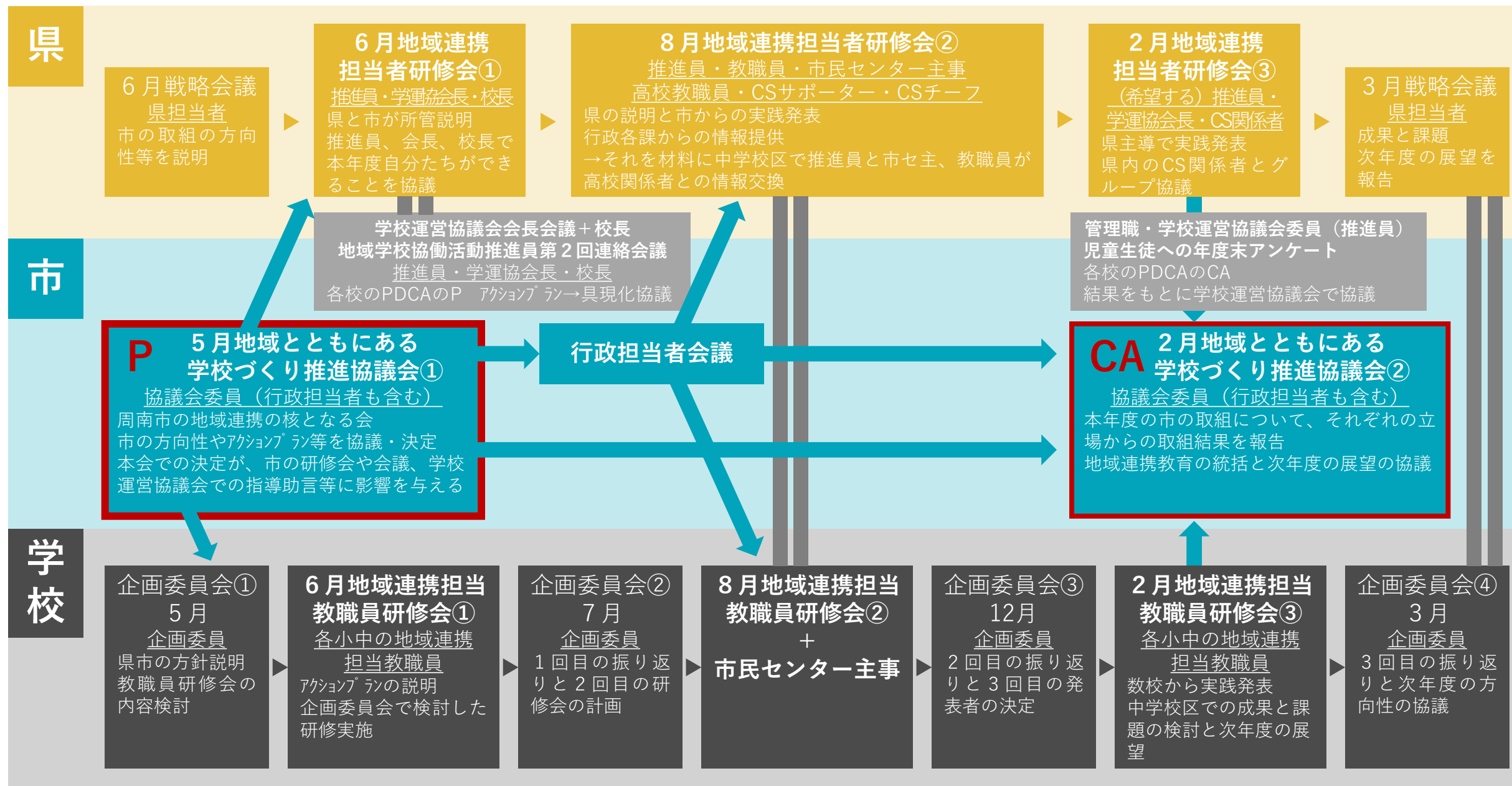
やったこと： **授業として**、中2全員が2つの小学校に分かれて行き、小3や保護者、地域の方等と、**中学生が運営**をしながら**モルック大会**を実施した

主 体： **中学2年生**（前年に総合の時間で準備や、クラスマッチでプレ大会を経験）

実施の経緯： **和田地区の地域活動**→小中合同学校運営協議会→総合的な学習の時間

大人の協力： **PTAや学校運営協議会委員**が参加呼びかけ、モルック準備・指導 11

周南市地域連携教育年間フロー



地域連携担当教職員研修会（年3回）

○企画委員会で検討した研修内容の実施

（学校の課題や現状に即した必要感のある研修会の実現）



企画委員会のメンバー（市内各地区の教職員＋行政）

小学校教諭2名・中学校教諭2名・共同実施事務長1名

学校教育課課長補佐・指導主事・社会教育主事・生涯学習課職員

行政担当者会議

- 周南市の地域連携推進・充実のため、地域資源の一つとして「行政」の関わり方を検討
- 周南市内の地域連携教育の取組に広がりや質の高まりをもたせる関わり方を検討



- 観光振興課
- 地域づくり推進課
- 地域福祉課
- あんしん子育て推進課
- 公立大学連携課
- 生涯学習課
- 人権教育課
- 学校教育課

富田東小、富田西小学校合同
「本山神事を学ぼう」
新南陽総合支所地域づくり推進室



地域づくり推進室職員が、地域にある山崎八幡宮の「本山神事」を、小学生に知ってもらおうと企画。近隣の校長先生に相談したところ快諾してもらい、小学校4年生に対して実施することになった。市役所の文化財担当者から文化財の説明を受け、その後、本山神事保存会会長から動画も使いながら、「本山神事」の説明を受けた。

鹿野中学校
「避難所運営訓練（HUG演習）」
周南市防災危機管理課等

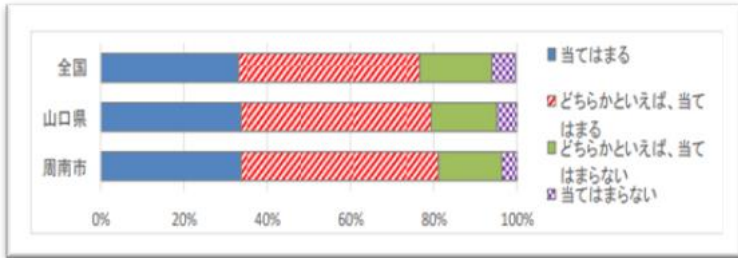


数年前より、小、中の養護教諭と家庭教育支援チーム員がコラボして、学校保健安全委員会を企画している。今回は、周南市防災危機管理課の出前講座を利用して、周南市の防災士の指導のもと、中学生全員とチーム員や保護者、教職員が分かれてグループを作り、HUG演習を一緒に行った。

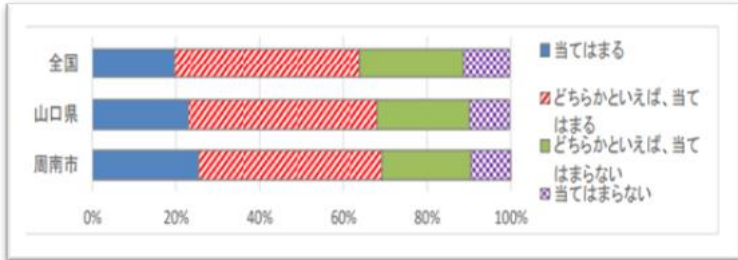
「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」

令和5年度全国学力・学習状況調査の質問紙より

小学生



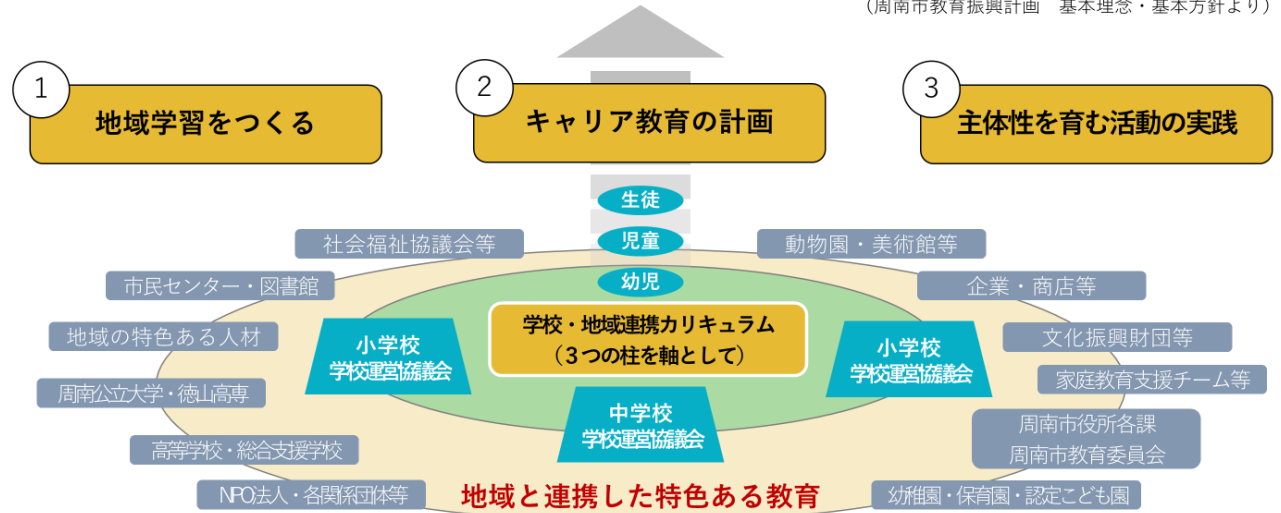
中学生



周南市「地域とともにある学校」づくりの推進・充実へ
～子どもたちの夢に寄り添いながら学びや育ちを「社会全体」で見守り支えることができる「環境」をつくるための3つの柱～

「ふるさと周南」の自然や歴史、伝統や文化に誇りと愛着をもち、
高い「志」を抱いて社会で活躍し、力強く自らの未来（あす）を拓く子どもの育成

(周南市教育振興計画 基本理念・基本方針より)



子どもの意見を中心に、子どもが参画できるように、学校・地域・保護者・行政が関わる

《周南市こどもまんなか5か条》

- 1 こどもの自由と権利を守り、安心して暮らせるまちをつくります。
- 1 こどもの意見や考えを尊重し、こどもの最善の利益を考えます。
- 1 こどもが学び・体験し、成長できる環境づくりに取り組みます。
- 1 こどもの夢を応援し、活力と希望に満ちたまちを目指します。
- 1 こどもが望み、活躍できる未来を地域と共につくります。

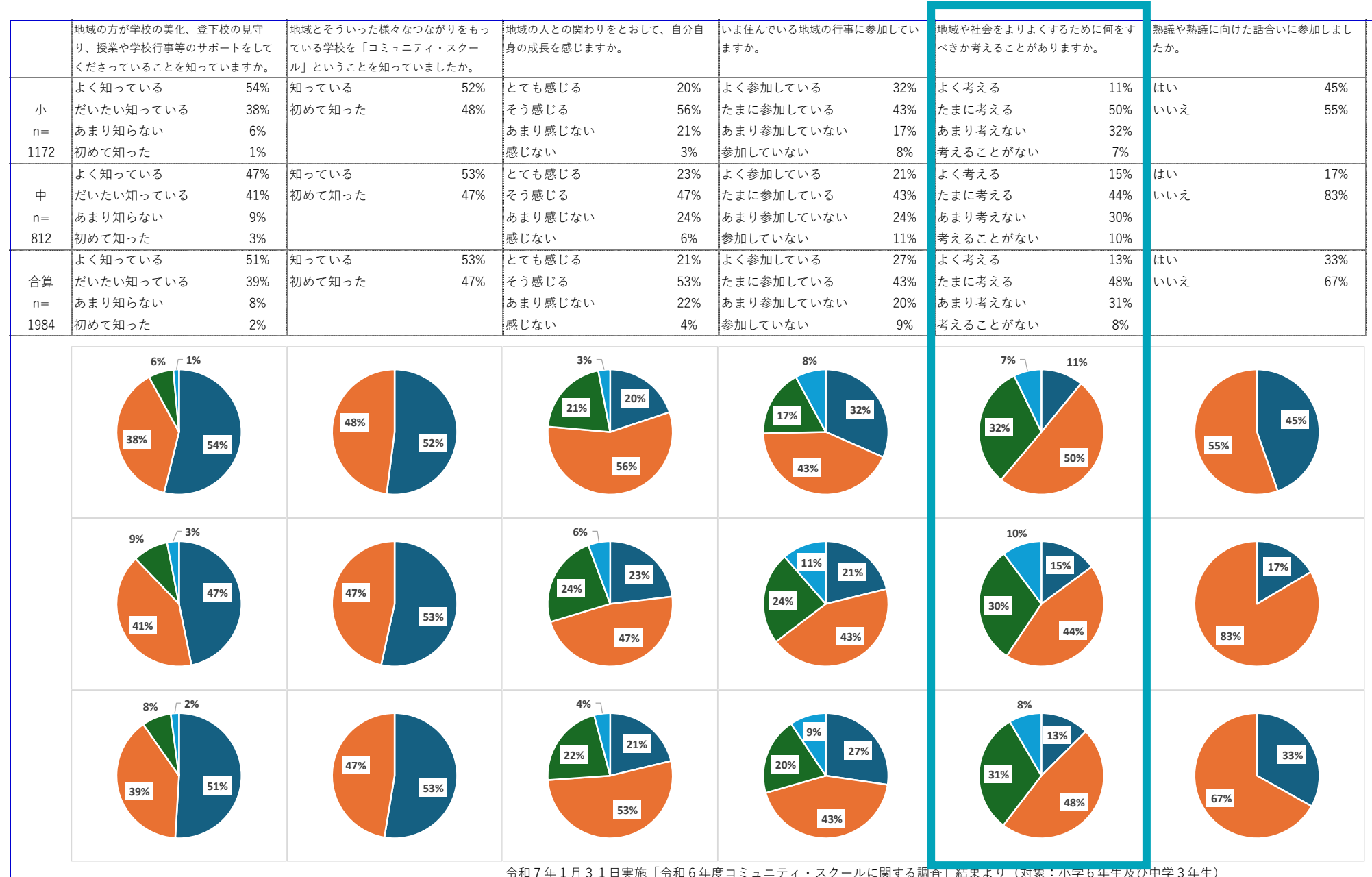
周南市のコミュニティ・スクールにおける重点課題

- 「学校・地域連携カリキュラム」を効果的に活用し、
重点課題①学校運営協議会の子どもの意見を生かした活動の計画・実施
- 重点課題②大人も子どもも「自分事」として捉え、参画する環境づくり

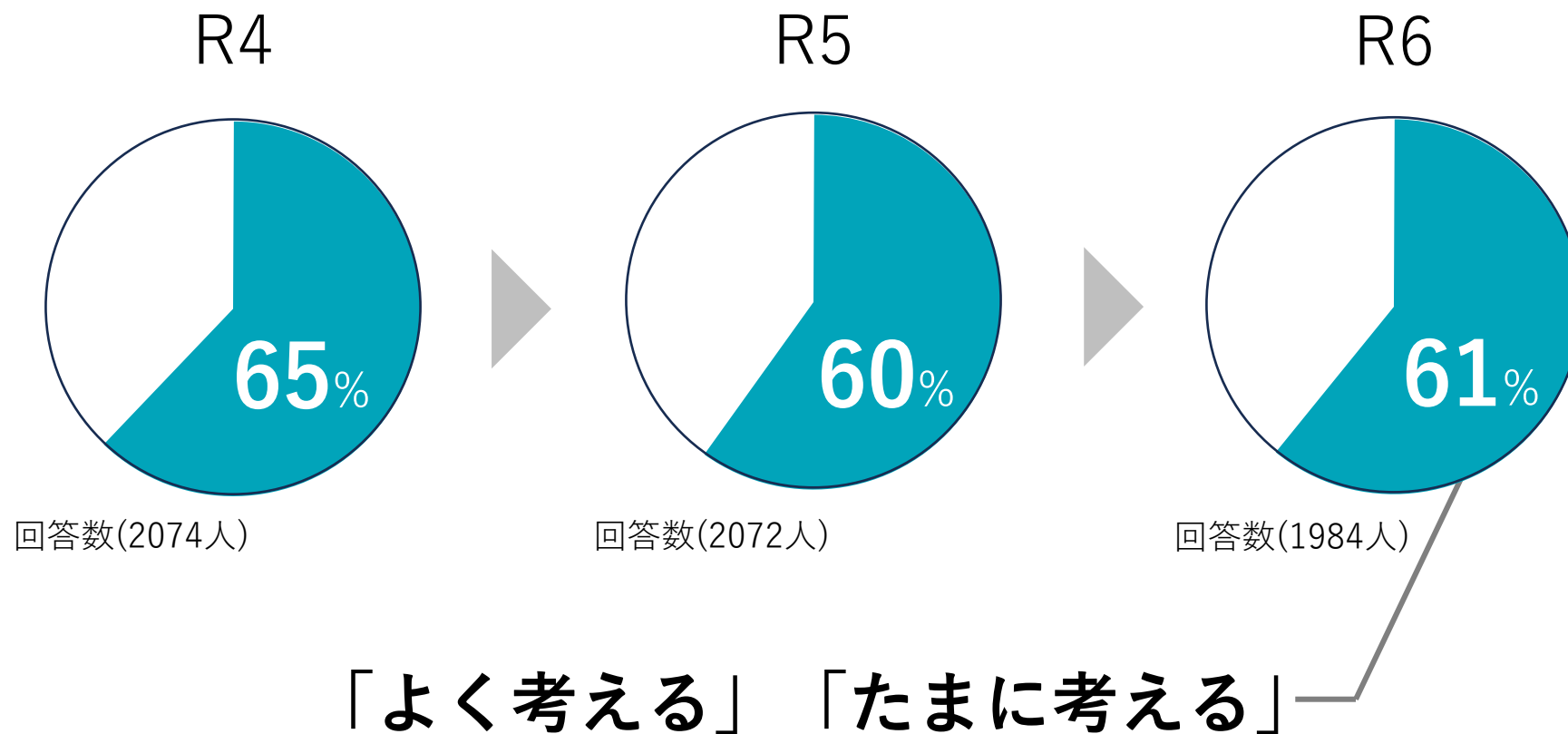
- 01 今年度の取組について
- 02 アンケート結果について
- 03 グループ協議について



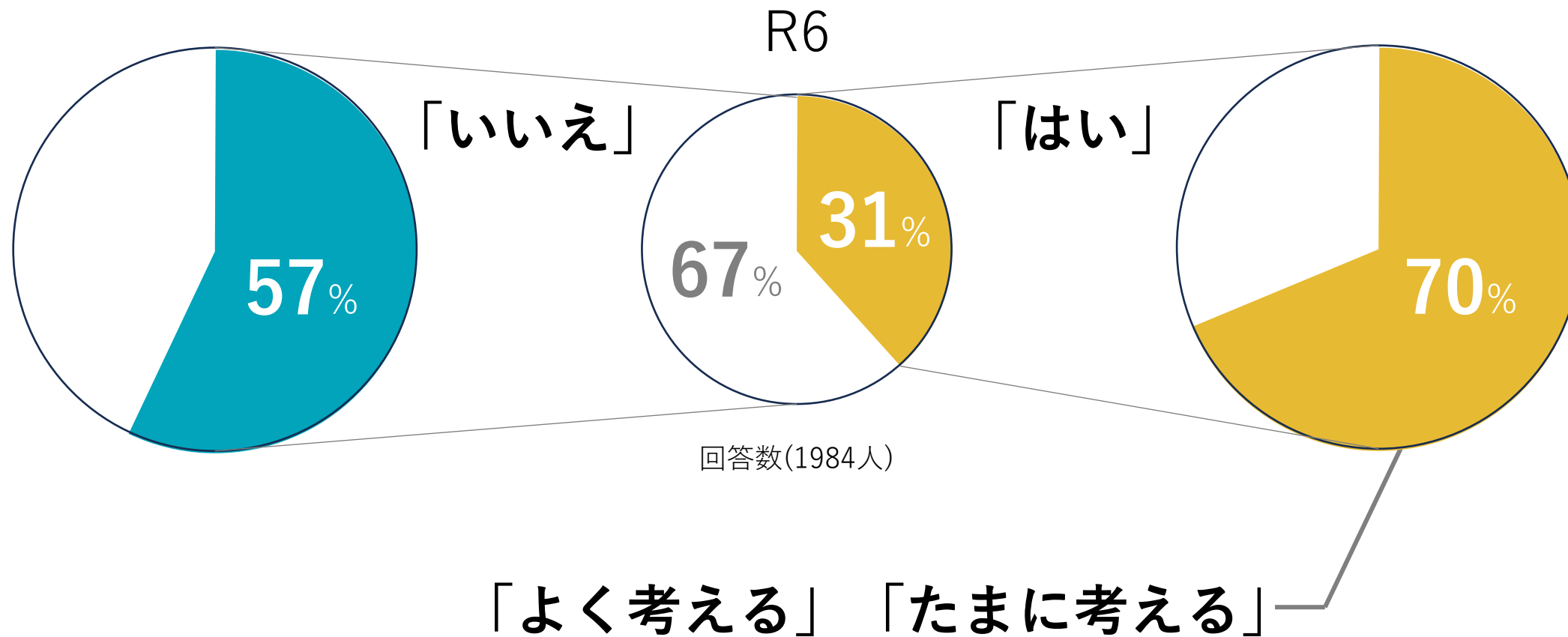
コミュニティ・スクールに関するアンケート調査について



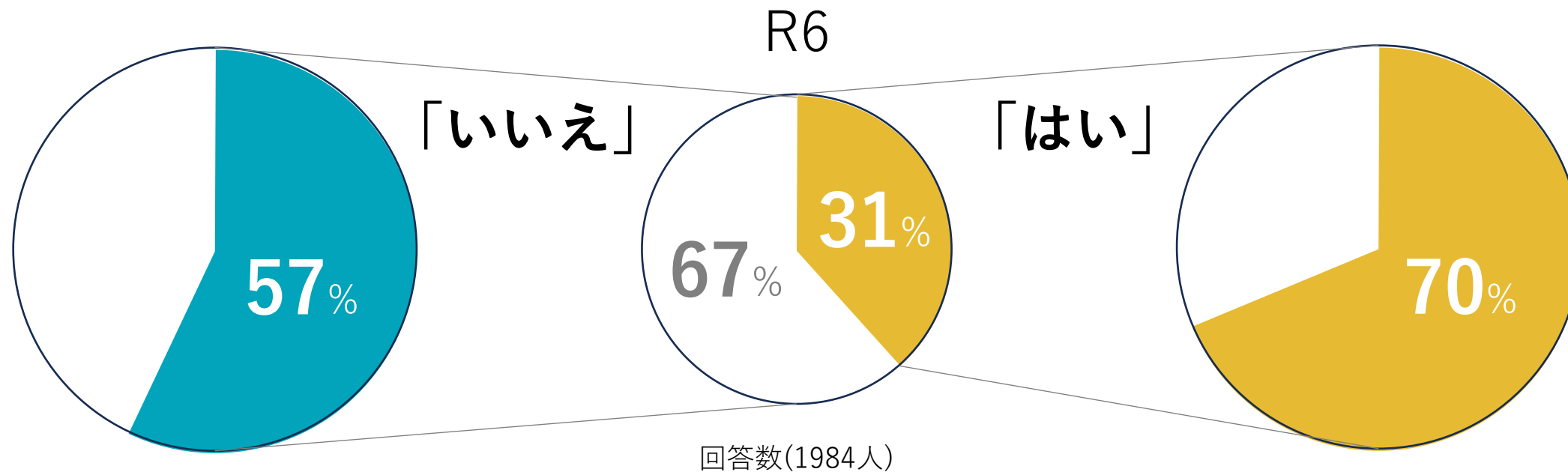
地域や社会をよりよくするために
何をすべきか考えたことがありますか？



熟議や熟議に向けた話し合いに参加しましたか。



熟議や熟議に向けた話し合いに参加しましたか。



子どもが熟議に参加する ⇒ 地域や社会をよりよくするために、何をすべきか考える